

昭和54年度 和歌山県文化功労賞

うち だ ふみ
内 田 文 (芙美子)

住 所：和歌山県和歌山市

生 年：明治33年

◎業績及び経歴

大阪府立清水谷高等女学校卒業後、福岡高等女学校(現福岡中央高校)専攻科にて音楽及び美術を専攻。かたわら九州帝国大学フィルハーモニー音楽会に属し、同会長の榊保三郎氏をはじめ、荒川文六氏に師事される。

上京後、榊原直、鈴木信子各氏に師事。東京音楽大学に籍をおき、堀内敬三、阿部英雄、鈴木稲子各氏に師事された。

昭和7年、福井県から和歌山に移り住み、以来内田ピアノ同好会を主宰されている。

その間クラシック音楽の振興と普及をめざし、昭和17年、管弦楽団を招請。また、ピアノのみならず、バイオリンの東儀祐二氏などを毎月招き、和歌山の音楽水準向上に努められ、長女の相愛女子大学ピアノ科教授、矢田瑛子氏をはじめ、文化奨励賞受賞者の出口美智子氏など現在活躍中の和歌山出身音楽家のほとんどを育成されてこられた。

その後、昭和42年、和歌山音楽教室を創設、同顧問となり、音楽大学進学をめざす子弟のよき相談役をつとめられるなど、いまなお、音楽教育に情熱を傾けられている。

昭和44年からは、県民文化会館の主催するクリスマスチャリティーに和歌山音楽教室も参加し、有名ゲストを迎え、文化の振興に寄与されている。